



SESERAGI-MISHIMA
ROTARY CLUB
WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2011~2012年度 RI会長 カルヤン・パネルジー
RIテーマ REACH WITHIN TO EMBRACE HUMANITY 心の中を見つめよう、博愛を広げるために

クラブテーマ「会員同志の職業を理解し出来ることはし助け合おう」会長 渡邊照芳
副会長 太田政人 幹事 山田定男

事務所 三島市中央町4-9 小野住理中央ビル2F
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

例会場 ブケ東海三島
TEL.055-984-0120
毎週金曜日 第1・第3夜間例会

第1069回 例会
2011.11.25(金)晴

司会:山本 章君 指揮:久保栄子君
ロータリーソング「それでこそロータリー」

会長挨拶

会長 渡邊照芳君



心の中を見つめよう、博愛を広げるために

本日は、杉山順一君の職業紹介をさせていただきます。杉山君は、整体師で整体療法院の院長をしており、谷田の整体医院の他、万葉の湯・駿河の湯・八景園等で、整体治療を行っております。

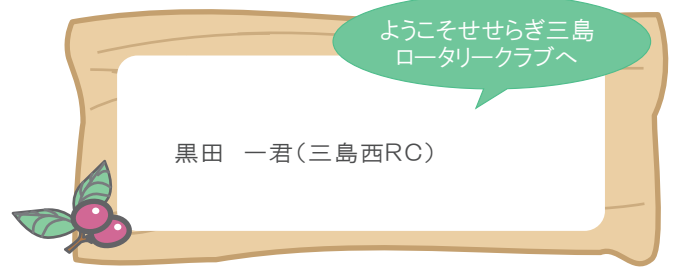
この仕事に入ったきっかけは学生時代野球をやっており、その時から整体に興味をもっていたが学校を卒業後は、建材メーカーに勤め営業の仕事をやりながら夜間の整体学校に通っておりました。そして昼間営業で現場に行き現場の人たちにコンパネの上に寝てもらい実験台になってもらい技術をみがいたそうです。

学校で整体を学んでいくうちに整体は、武術につながるのではないかと、人を殺す事も、生かす事も出来る殺法であり整体道であると思ったそうです。今年で仕事を初めて10年目になりますが、好きな事やらせてもらい心配をかけた家族には感謝していると心から言っておりました。

開業当初お客様も余りなく大変だった頃、近所の人達が声を掛けてくれたり、食糧を差し入れてくれたり、近所の人達に助けられた。そして今、各ホテル・施設に若い従業員を出して働いてもらっているが、この若者達に技術を教えるには、お金をとって教育したのでは若者達は、ついてこないと思った。従業員を育てていくには、自分自身の心を磨きレベルをあげていかなければ従業員は去ってしまうと思う。

自分の好きな言葉にプロレスのアントニオ猪木が言った[道]という言葉がある。この道を行けばどうなるものか、危ぶむなかれ、危ぶめば道はなし、踏み出せばその一步が道となり、その一步が道となる。迷わず行けよ、行けば分かるさ。この言葉を困った時、迷った時いつも声をだし唱えていると言っております。

した。そして今働いてくれている若者達の何人かは、一時社会からはじかれた者もいたが、その若者達と接して感じたことは、人間必要でない人はいない、だれもが必要である。この整体道を通して、社会復帰をしたい人の手助けを少しでも出来ればしたいと言っておりました。杉山君、アントニオ猪木の言葉「元気があれば、何でも出来る」これからはガンバッテください。



ようこそせせらぎ三島ロータリークラブへ

黒田 一君(三島西RC)

出席報告				
	出席総数	出席率	マークアップ	修正出席率
前々回	26/33	78.79%	28/33	84.85%
今回	28/34	82.35%	会員総数5名	
欠席者		あなたが見えなくて残念でした。		

遠藤君、田中君、中山君、服部君、宮沢君、山口(雅)君

幹事報告

幹事 山田定男君

1. 例会変更 伊豆中央RC
12月20日(火) クリスマス家族会
洋ランパーク
三島西RC
12月22日(木) 忘年家族会
みしまプラザホテル

地区大会報告

会長 渡邊照芳君

大雨の中、今年度の地区大会一日目が 沼津リバーサイドホテルで開催されました。

積ガバナーの開会点鐘に始まりました。積ガバナーの挨拶の中で東日本大震災に、ロータリアンの皆様からの支援金の使途についての説明がありました。

当クラブへのガバナー訪問の時にも話がありましたが、支援金の一部は、被災地へ送ったが、残りの支援金を被災地の子供達への奨学金に使う事を中山年度で話し合ったが、一向に進まないため、一度各地へ返してもらい、そのお金をどうするか検討した結果、被災地の二つの地区である、宮城と福島の地区へ等分の約1400万円ずつ送ったとの報告がありました。

又、RI会長代理として、セイコーホールディング(株)名誉会長の服部禮次郎様(東京銀座RC)の挨拶があり、その中でRI会長カルヤン・バネルジー会長の今年の「心の中を見つめよう！ 博愛を拡げる為に！」のテーマは皆さん読んだ事はあると思いますが、覚えていないと思うので今一度話をされました。

第1に「家族」強い家族を築くこと！

第2に「継続」我々が今まで遣ってきて良かった事は継続すること！

第3に「変化」社会の変化に応じて我々も良い方向に変化しよう！と話されました。

そして、世界の各クラブ間の交流もクラブがあつてこそ、各クラブの色々な事情があるがその事情が違って当たり前、クラブはそれぞれの特色を出し、クラブの独自性を出して貰う事。

RIは、均一性、同じ様には成れとは決して思っていないと言っておりました。

クラブ研修リーダー 中村徹君

1、このたびは地区大会にクラブから出席させていただき、ありがとうございました。クラブ研修リーダーについてガバナーから何かお話があるかと思い、出席させていただきました。研修リーダーの任期は3年であり、その役割を考えると大変なものがあります。来年の卓話でフォーラムを開いて皆様のご意見を集約し、役目を負いたいと思います。

2、地区大会はRI会長代理に東京銀座ロータリークラブの服部禮次郎さんをお迎えし開催されました。服部禮次郎氏は1921年(大正10年)生まれ、90才、セイコウホールディングス株式会社名誉会長であり、1960年に入会されましたので、ロータリー歴は51年です。

1980年～1981年に27500地区ガバナー、またRI会長バネルジーさんとはRI理事と一緒に務めたという、ロータリーの重鎮であります。服部さんはロータリーの友7月号のRI会長メッセージについてお話されました。「自分を見つめ直す」という意味と今年度の強調事項である、家族、継続、変化についてわかりやすく90才とは思えないしっかりとした口調でお話されました。

3、今回、「ロータリーの心を求めて」という地区大会のテーマに基づき、偉大なロータリアンでもあった松下幸之助を最もよく知る人である、川越森雄氏(松下資料館顧問)に「松下幸之助成功の発想と危機克服の心得」について講演をお聞きしました。「不況時こそ会社の発展・成長の好機である」とか、松下幸之助・危機克服の心得十箇条は長期デフレが続く日本にとって、経営者である私達には大変為になるお話でした。

4、「東日本大震災義援金が中山年度に33,849,642円集まり、ガバナー会に送金したものの、諸般の事情により、岩手、宮城2520地区に1400万円、福島2530地区に1400万円を地区から送金され、中山直前がバナーに報告されたそうです。義援金の趣旨からも適切な判断であったと思われました。

委員会報告

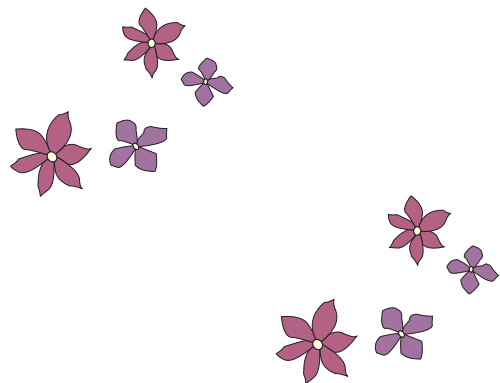
親睦委員会

委員長 小林勝君

12月16日にクリスマス家族会をおこないます。

次週例会より出欠席をとります。

会費は会員6000円会員家族は4000円、子供は1500円です。よろしく願いいたします。





スマイルボックス

中村 徹君：地区大会には会長・幹事・理事の皆様、お疲れ様でした。山田幹事には会場までの送迎をしていただきありがとうございました。

矢岸貞夫君：腰の悪い人にとってはつらい季節になってきました。地区大会に出席した皆様お疲れ様でした。

杉山順一君：元気ですか！元気があればなんでもできる。元気があればロータリーもできる。今日は職業紹介をしていただきありがとうございました。私は今、人生のホームレスをやっております。

米山晴敏君：会社でいい事ありました。スマイルします。

片野誠一君：都合で早退させていただきます。

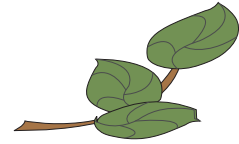


PHOTO GALLERY

